

第3号議案

平成31年度 下新宿自治会の基本方針

(1) 下新宿を取り巻く環境の変化に相応した基本的考え

地域住民の安心・安全を第一に考え地域の更なる顔の見える街づくりと地域の和を大切にささえあるコミュニケーションづくりに取組んでまいります。

この地域においても様々な公共土木工事が行われていて、

- 1) 江戸川放水路の高潮対策として堤防かさ上げ工事
- 2) 行徳橋新設工事
- 3) 妙典橋新設工事 等、

行政は様々な防災対策、道路整備工事を行っております。

下新宿自治会としても、行政の防災対策に頼るのではなく、自らが積極的に防災に対し備えることが必要ではないでしょうか。

具体的には、

- 1) 昨年度より、下新宿の集合住宅の自治会未加入課題に対しオーナー様のご理解により154世帯が新たに自治会に加入していただきました。これにより更なる地域の一体感と結束が重要となります。その為に地域のコミュニケーションづくりを発展させなければなりません。
- 2) 各種事業活動を通じ、更なる顔の見える街づくりと、「住んで良かった」と感じる温かい心のかよう自治会運営を行うために地域に長くお住まいの方々の積極的に自治会運営への参加。（自治会役員に一回は、参加してみませんか？）
- 3) 下新宿を支える「ひまわりの会」33名加入（女性）及び「タンポポの会」15名（30代～40代のパパさん）が積極的に交流を深めております。この会は、次世代のこの地域を担う方々です。未加入の方は活動を通じてご理解を頂くと共に参加してみませんか。

この3本の柱を中心に取組んで参ります。

また、将来の自治会活動を更に発展させる為には、自治会員の参加型支援役員と組長へ積極的参加が何よりも重要であると考えております。

〈課題〉

- ① 現会長、副会長の就任期間が10年を超えようとしていて、災害対応準備、各行事を通じての企画がマンネリ化し新たな発想が必要。
- ② タンポポの会は、昨年7名新たに参加いただいたが新たな自主活動が出来ていない。
- ③ 自治会員の高齢者の会である白寿会の加入者が減少傾向にある。
- ④ 現在女性理事1名、将来を考え女性の意見が反映出来る自治会活動を行いたい。

〈方向性〉

- ① 自治会員で60歳～75歳の新しい考えを持つ人が理事を担い、新しい街づくりに寄与してほしい。又将来を担う若手（40代の子育て中の意欲ある男性、女性（年間行事のお手伝い）を積極的に参加することで、次の世代が活躍できる。
- ② 災害時の相互扶助の精神をもう一度自治会員一人ひとりが考えて、地域の”安全・安心の街づくり”に参加してほしい。その為に地域の各種行事に積極的に参加しお互いに名前を呼べる関係づくりに努力していただきたい。
- ③ 昨年度1名の女性理事が就任しましたが、将来理事の半分を女性に担ってもらい、地域貢献につながる意見を頂きたい。

（2）幅広い住民参加の自治会

- 1) 総会前に議案書を全会員（集合住宅を除く）に配布し、自治会運営についてご理解をいただくと共に総会に出席して頂きたい。

回覧・掲示板・ホームページの更新を行い、自治会活動を公示する。（ご意見のある方は、会長、副会長へお知らせ下さい。）

- 2) 地域住民が自治会活動に容易に参加できることを目指す

組長さんとの定期的情報交換会（奇数月、5回／年）を継続する。

顔の見える街づくり（近所同士の連携やコミュニケーションの強化）及び”世代間の交流”を目指して、レクリエーション行事を実施する。

新入会員の募集（集合住宅を含めた地域の皆さんの自治会活動への参加促進）

気軽に子育て・介護相談できる地域窓口（行政への仲介窓口）を継続する。

- 3) 防災対策の強化

防災備品のさらなる整備拡充

H29、30年度で大型テント2台、発電機2台、照明器具、トイレ器具並びに生活備品を購入したことで災害発生後行政支援がうけられない状況でも3日～4日間自活出来る装備が整いました。（但し、食料は各自持込み）

又防災マニュアルの見直しと、防災用具備品の使用方法を全自治会員が習得するための訓練を行う（夏祭りと同様開催）。新規自治会員については防災マニュアルの配布と講習会を行う（新規加入会員・集合住宅会員については別途お知らせ致します）。

実践的な防災訓練（各家庭における防災訓練、防災組織とその役割と機能の確認、行動訓練、炊き出し訓練）を実施する。